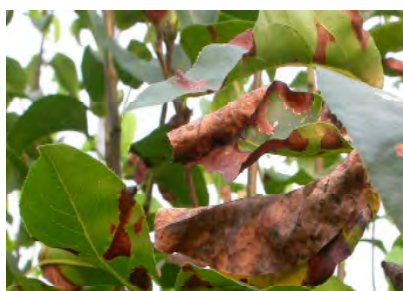


# ハウスナシのハダニ防除のための 天敵カブリダニ資材の開発

鴻巣市のハウスナシ農家は、エコファーマーに認定され減農薬栽培に取り組みましたが、ハダニが多発して問題となっていました。そこで、ハダニの天敵ミヤコカブリダニを利用したハダニ抑制技術を開発しました。

各地から土着のミヤコカブリダニを捕獲し、ハダニ捕食能力が高く殺虫剤に抵抗性をもつ有力な個体を選抜し、ナシ花粉を餌とした増殖法を組み立てました。一方、カブリダニのナシ樹定着条件を検討し、牧草草生栽培やマジックテープの設置により定着率が高まることを明らかにしました。このカブリダニを研究所内ナシハウスに放飼して抑制効果を確認しました。



ハダニによる被害



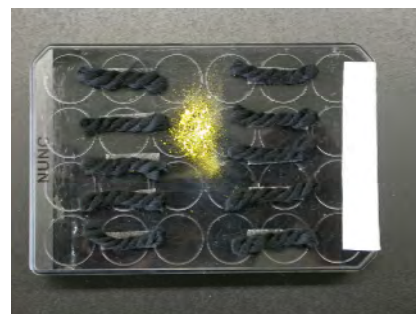
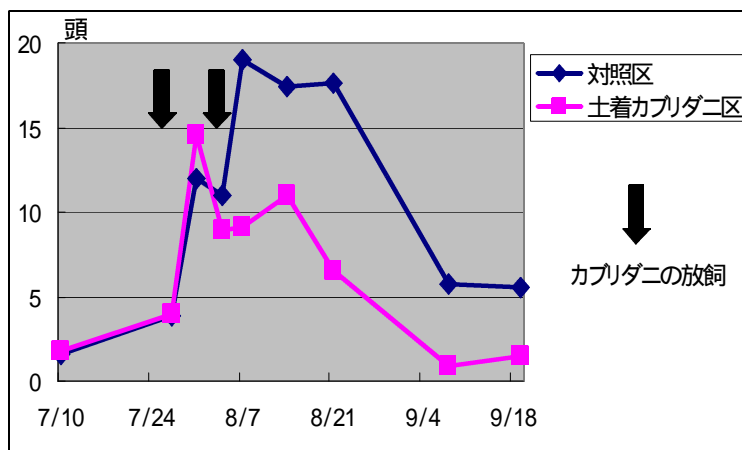
選抜したミヤコカブリダニ



マジックテープ製のカブリダニトラップ（捕獲と同時に住みかになる）（抵抗性を獲得したと思われるカブリダニの発見）

薬剤	ミヤコカブリダニ製剤(スパイカル)	土着ミヤコカブリダニ(鴻巣市)
スプラサイド	0%	52%
エイカロール	3%	8%
コテツ	31%	59%

薬剤別のカブリダニの生存率



アクリル板を使った飼育装置（毛糸は産卵用・中央は花粉）

選抜したミヤコカブリダニによるハダニ抑制効果  
（農林総合研究センター 生物機能担当

TEL 0480 - 21-1113）